

家事を共有する「地域食堂」設計

2年連続優勝の横須賀工高



(左から)上原会長、濱田さん、石橋さん、西上床さん、日置賢司校長、國島教諭



応募作品の模型

神奈川県建築士会(上原伸一会長)は16日、2024年(第15回)の高校生の「建築甲子園」神奈川県大会で優勝した横須賀工業高校建設科(建設研究部)の濱田真里さん(3年生)、石橋悠大さん(2年生)、西上床彩奈さん(1年生)の3人を表彰した。昨年に続き、2年連続の優勝となった。応募作品のタイトルは「食

神奈川県

建築甲子園県大会で表彰

堂洗濯足場のオーナーレジデンス「横須賀市・みんなの食卓・洗濯・くつろぐ居場所」。1年生の時から毎年大会に参加し、チームの中心的役割を担った濱田さんは「アパートと食堂を設計した。いろいろな人たちが集まる交流の場をイメージした」と話す。大会を通じて成長できたとも語り、将来設計に携わることが目標に、神奈川県建築学部に進学することが決まったという。

主に模型づくりを担当した石橋さんは「敷地の長さが違って点など、良く見せるよう工夫した」とし、西上床

かほり教諭は「建築系の授業が少ない中、こうして優勝できたのは素晴らしいこと」と生徒たちの奮闘をたたえた。

